

骨粗しょう症予防機能性食品の開発 ～ 健康寿命の延伸に向けて ～

キーワード 骨粗鬆症、機能性食品、高齢者、健康寿命

大学院医歯学総合研究科 歯科薬理学分野 助教 柿原 嘉人

社会的背景と研究の概要

超高齢化社会にともなって、我が国における骨粗鬆症患者数は年々増加しており、すでに推定患者数が1300万人に達すると言われています。骨粗鬆症は、骨折による寝たきりの原因にもなり、高齢者をQOLを下げる原因でもあります。我々は、骨粗鬆症の予防をめざして、機能性食品の開発を行っています。骨代謝を活性化する食品素材や化合物の細胞スクリーニング系を構築し、実際に効果があるのか生体系のモデル実験を用いて評価しています。

研究の成果とアピールポイント

細胞実験を用いた
ハイスループットスクリーニング

食品素材抽出物または精製化合物の
スクリーニングが可能

骨粗しょう症モデル動物試験による実証

健常人介入試験による
機能性食品としての実用化

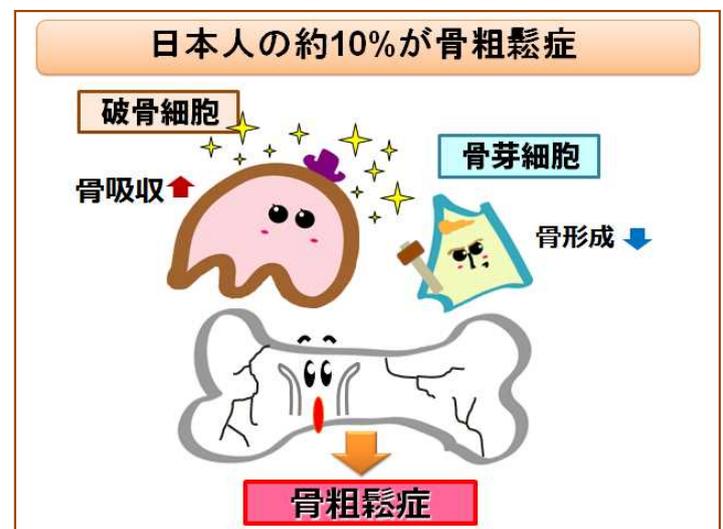
期待される効果

食品素材の高付加価値化

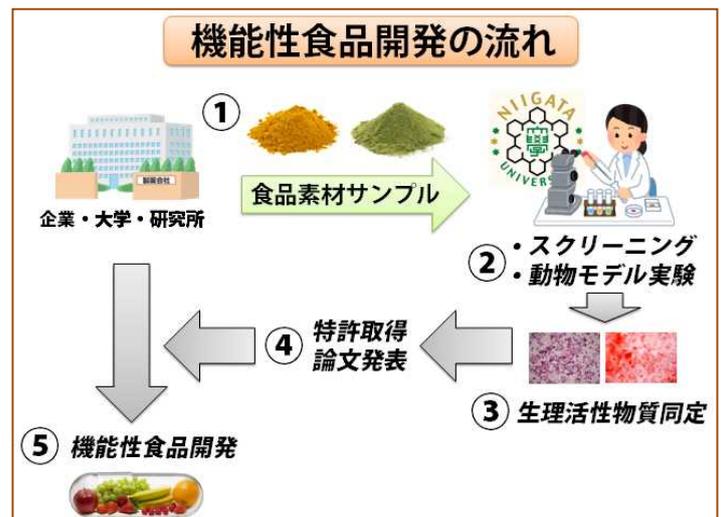
新規な骨ケア商品の開発

つながりたい分野（産業界、自治体等）

- ・ 精製化合物や食品素材を所有し、それらの新規な食品機能性に関心のある企業を希望します



骨粗鬆症は、破骨細胞と骨芽細胞のアンバランスが原因



機能性食品開発のスクリーニング&評価システム